

令和元年度 第2回四国中央市水道事業経営審議会要旨

日 時 令和2年3月13日(金) 13時30分～16時00分
場 所 水道局庁舎2階会議室
出席委員 石川茂、宇田賢司、篠原一美、鈴木義彦、高石正広、高橋充、武岡宏明、蝶野幸恵、森實清美
事務局 星川 隆、田辺敏文、寺尾大典、庄司玉男、石川貴仁、石川照人、鈴木敏弘、棚橋英和、井上幸一、石村佳史、大尾裕美
その他 (株)日水コン 竹田
傍聴者 0名

1. 開会あいさつ(宇田賢司会長)

2. 水道局長挨拶

3. 議事1 諮問事項

四国中央市水道事業ビジョンについて

○事務局より説明

○質疑

・委員

収益的収支、資本的収支とは？

・事務局

収益的収支は、年度ごとに出入りするお金のバランスを見る項目で、収入は料金収入などがあり、支出は人件費、薬品費、動力費、減価償却費、借りたお金の利息の支払いなどがある。一方、資本的支出は、長期間かけて作って、使う期間も長期にわたるものの工事費用などで、その工事のための収入を合わせて資本的収支という。

・委員

料金改定が比較的短期間に繰り返されているが、これ以外に緩やかな改定率の選択肢は考えられないか？

・事務局

現段階で最低限度の更新に沿ってシミュレーションを作成している。

・委員

耐震化を急ぐのはわかるが、災害があった時に国が補助してくれないのか？

・事務局

災害が起きた時に対応すればよいという意見もあるが、起きて水が供給できなくなる前に耐震や更新を進めたい。そのための財政面をどうするかを含めて考えていかなければいけない。

・委員

財政計画の収益的収支が平成29年より急激に下がっているようだが理由は？中田井浄水場の更新が原因か？

- 事務局
料金収入は平成10年が一番ピークで、その後は右肩さがりに収入が減少している。経費削減に努めているが厳しい状況にある。
- 委員
その右肩さがりの原因は？
- 事務局
人口減少や節水型機器の普及に伴い使用量が減少し、料金の収入が減ってきているのが直結している。
- 委員
同じ市なので、市内統一の水道料金にするのはいいと思う。
- 事務局
現状、水道料金は三島・川之江地域が一番高く、次に、新宮地域、土居地域です。料金収入の9割が三島・川之江地域が占めており、3地域の平均金額で設定をするとかかなりの減収になる。将来的には、三島・川之江地域の料金に合わせていく必要がある。
- 委員
合併当時、全ての整備ができるまで料金を上げないと言っていたが、土居地域の整備が終わっていない今の時点で料金を上げてしまうと反対意見も出てくると思うがどうお考えか？
- 事務局
従来計画では、土居地域の水質が悪いので中田井浄水場から送る必要があると判断していた。その後も協議・検討を重ねる中、再度土居地域の沢山ある水源の水質検査を行いうと、使える水があり、十分確保できる。長距離の中田井浄水場から送るより、ある程度水源を確保した方が災害時等の安定した給水が期待できる結果となり、水源整備に切り替えて検討を進めている。
- 委員
土居地域の大幅な料金改定は議会で容易に認められると思えないが、赤字分は一般会計から繰り入れることになるのか？
- 事務局
赤字になってもすぐに補てんしなければならないものではない。将来料金改定をして黒字が出て、赤字分を解消できるものと考えている。
- 委員
土居地域まで送水する計画で中田井浄水場を整備したと思うが、送水しないとすると施設が大きすぎるのでは？
- 事務局
更新前に施設より縮小している。それでも、土居地域に送水できる処理能力はある。
- 委員
簡易水道事業が同一会計にした場合でも、一般会計からの繰り入れは担保されるのか？
- 事務局

令和2年度は予算化された。今後も交渉を継続していく。

・委員

有収率が向上する見通しとなっているが、どんどん向上する性質のものではないのではないか。

・事務局

目標的な数字が入っている。管路更新を行い、配水区域の見直しによる水圧改善の効果も確認している。

4. 議事2 報告事項

平成30年度決算及び事業報告について

○事務局より説明

○質疑

・委員

赤字の許容範囲は？

・事務局

単年度で赤字が出る事は過去にもあったが、その時は料金値上げで解消した。基本的に水道事業は水を売って収入を得ることしかできないので、赤字を解消するには給水収益に頼らざるを得ない。給水人口と使用量が増える見込みがないのであれば、料金値上げもやむを得ない。

・委員

簡易水道の創設時には薬品費など最小限の経費で運営していた。若い人はきれいな施設、安全安心な水を求めるかもしれないが、上の世代は必ずしもそうではない。料金値上げする場合、上手く説明してほしい。

・事務局

水道創設した時から、元来水が出ていた所に耐震化等を行うことによって料金にはね返る。住民の方に理解を得られるよう十分に説明していきたい。

・委員

給水原価が、供給単価より安くなっているのはなぜ？

・事務局

供給単価は給水原価より高くしたいが、今までの合併の経緯があり、料金を上げられなかった。

5. 議事3 報告事項

令和2年度からの水道事業等について

○事務局より説明

○質疑

・委員

新宮地域の簡易水道は、規模が小さいけど2つに分けるのですか？

・事務局

新宮地区簡易水道事業と新宮地区北東部簡易水道事業で、事業自体は事業認可を県に対してもらっているため2つに分かれている。今回は統合していない。

6. 議事4 報告事項

中田井浄水場等更新整備・運営事業の進捗について

○事務局より説明

○質疑

なし

○中田井浄水場 施設見学

7. その他

特になし

閉会